

## 令和7年度多機関協働の専門職合同研修会 実施要領

目的	包括的な支援体制構築のため、各分野の相談担当者（本研修参加者であり、以下「参加者」とよぶ）が、属性に関わらず包括的に相談を受け止めて世帯全体を支援する視点を持ち、多機関と協働する相談支援を実践し、実践の中で得た地域生活課題から地域づくりに寄与する人材を育成する。
日時	令和7年10月16日（木） 午前9時30分から午後4時30分まで
会場	総合福祉センター 大ホール
講師	多機関協働の専門職合同研修会の修了者等
対象者	<p>相談支援機関等に所属する専門職</p> <p>※所属機関の業務を理解し、相談支援を実践する者（実務経験2年以上の者）</p> <p>(1) 包括的相談支援の機能をもつ課・機関に所属する者（主たる対象）</p> <p>地域包括支援センター、障がい者生活支援センター、自立支援相談コーナー、高齢者・障がい者権利擁護センター、こども家庭支援課、障がい福祉課、生活支援課、地域共生推進課、健康増進課など</p> <p>(2) 多機関協働の関係機関として考え方を知ってもらいたい者</p> <p>春日井保健所、医療機関、学校教育課など</p>
定員	24名（5～6名×4グループ）
内容	<p><b>0 春日井市の重層的支援体制整備事業（15分）</b></p> <p>講師：事務局 重層担当職員</p> <p>講義「重層的支援体制整備事業について」</p> <p>☞ 世代や分野を超えた包括的な支援体制について理解します。</p> <p><b>1 属性を問わない相談支援（75分）</b></p> <p>講師：障がい者生活支援センター JHNまある 職員</p> <p>(1) 演習「滅びゆく地球からの脱出計画」</p> <p>☞ 個人ワークやグループワークを通して、異なる価値観を有することを学びます。</p> <p>(2) 講義「つながる支援の魅力とそのヒント」</p> <p>☞ 日々の支援を振り返り、今後の支援に活かせるヒントを見つけます。</p> <p><b>2 多機関協働（160分）</b></p> <p>講師：各相談支援機関 職員</p> <p>(1) 講義「相談支援機関の概要」</p> <p>☞ 各相談支援機関の機能、役割、特徴を理解します。</p> <p>(2) シンポジウム</p> <p>「機関がつながるエコマップ～本人支援から世帯まるごと支援へ～」</p> <p>☞ 各相談支援機関が連携・協働する様子を知り、グループワークで検討します。</p> <p><b>3 地域づくりに向けた支援（85分）</b></p> <p>講師：地域福祉コーディネーター</p> <p>(1) 演習「事例から考える地域の強みを活かした取組（仮）」</p> <p>☞ 個別支援の事例をもとに、地域の強みを活かして取組を考えます。</p> <p>(2) 講義「個別支援での気づきを地域の取組につなげる（仮）」</p> <p>☞ 地域福祉コーディネーターの役割を知り、地域づくりに向けた支援を学びます。</p>
申込方法	あいち電子申請・届出システムから申込（詳細はチラシにて）